

CNAレポート・ジャパン

Conferencing industry News report, research & Analysis - CNA Report Japan

創刊：1999年12月

発行日：毎月15日・月末

取材・編集・発行：橋本啓介

テレビ会議・ウェブ会議・電話会議システム専門 定期レポート

Vol. 11 No.13 2009年7月15日号

編集:editor@cna.jp 広告:pr@cna.jp 読者登録:<http://cna.jp>

Copyright 2009 CNA Report Japan. All rights reserved.

製品・サービス動向-国内

タンバーク、1080p30 対応エントリーモデルビデオ会議システムを発表

タンバーク社は、エントリーモデルの 1080p 対応ビデオ会議システム「TANDBERG Quick Set C20(タンバーク・クイックセット C20)」を発表した。(6月18日)



TANDBERG Quick Set C20 利用イメージ



TANDBERG Quick Set C20

(写真上・下：日本タンバーク資料)

TANDBERG Quick Set C20 は、中小規模の企業の他、ビデオ会議ソリューションを導入したばかりの企業や、大規模なビデオ会議システムの導入を検討している企業にとって最適なソリューションという。エントリーモデルのため、購入し

やすい価格だが、拡張性にすぐれ、コンパクトで操作が簡単といった点が特長。セットアップも簡単で、ユーザは、5つのステップ(①カメラ、②ディスプレイ、③電源、④ネットワーク、⑤マイク)で接続を完了し、すぐにビデオ会議が行える。

通信プロトコルは、H.323 と SIP。1080@30fps(フレーム/秒)に対応し、PC 画面と相手を同時に映し出す 2 画面構成。ビデオ会議端末の管理は、「TANDBERG Management Suite(TMS)」がサポート、また多地点接続を行う場合は、タンバークの多地点接続装置(MCU)を使用することで、1080p30のフルHD画像で行うことができる。これらの機能はソフトウェアアップグレードにより可能。

TANDBERG Quick Set C20 は、コーデック(Codec C20)、HDカメラ(PrecisionHD 1080p)、マイク(Performance Mic 20)、リモコン、ケーブルから構成されているが、カメラの解像度とフレーム/秒が異なる2つのパッケージを提供している。

「TANDBERG Quick Set C20」は、最大 1080p30 フレーム/秒をサポートし 4 倍ズームに対応した HD カメラ、それに対して「TANDBERG Quick Set C20plus」は、最大 1080p30 フレーム/秒と 720p60 フレーム/秒をサポートし、12 倍ズームに対応したHDカメラが含まれる。

ライフサイズ・コミュニケーションズ社、720p30 フレーム/秒に対応した PC ソフトウェアを発表

ライフサイズ・コミュニケーションズ社は、通常の PC で HD ビデオコミュニケーションを実現するスタンドアロン型ビデオ会議ソリューション「LifeSize Desktop(ライフサイズ・デスクトップ)」を発表した。(6月15日)

市販の Web カメラとの組み合わせによる利用が可能で、

標準的な PC の性能に最適化されるように設計されている。

LifeSize Desktop は、720p30 フレーム/秒、アスペクト比 16:9。HDビデオ画像とエコーキャンセル機能付きの HD 音声を提供している。

「LifeSize Desktop は、CPU の占有率が低いため、PC 上で複数のアプリケーションを同時に実行させた状態でも、HD ビデオによるコミュニケーションが可能。また遠隔地のユーザは、企業の VPN や LifeSize Transit(NAT/ファイアーウォール越えソリューション)を介して、セキュアに NAT やファイアーウォールトラバーサル(通過)が可能だ。」(ライフサイズ・コミュニケーションズ社)

LifeSize Desktop は、2009 年第 3 四半期の出荷予定。同時に 30 日間限定の無償試用版が同社のウェブサイトからダウンロードで入手可能になる。LifeSize Desktop のライセンスは、1、5、10、25、50、ならびに 100 といったシート数のライセンスをパッケージした形で提供される。

ポリコムジャパン、同社のイマーシブ テレプレゼンス ソリューションが 1080p/30fps、720p/60fps に対応

ポリコムジャパン株式会社(東京都千代田区)は、同社が販売しているイマーシブ テレプレゼンス ソリューションである「Polycom RealPresence Experience(RPX)」と「Polycom Telepresence Experience(TPX)」が、1080p/30fps と 720p/60fps に対応したと発表。(6 月 16 日)



Polycom RPX (ポリコムジャパン資料)



Polycom TPX (ポリコムジャパン資料)

ポリコムジャパンによると、ビデオ会議業界では最高解像度レベルである、フルHD1080p/30fps(フレーム/秒)に対応することで、臨場感が増し、遠隔医療などの最高品質の映像が求められる用途にも利用できると考える。また HD720p/60fps に対応することで、映像がより滑らかな動きに対応するため、学校の教室やトレーニングセンターなどの動的な環境に最適と説明する。

また Polycom RPX と Polycom TPX は、別売の「Polycom RMX 2000」リアルタイムメディア会議プラットフォームと組み合わせることで、Polycom HDX シリーズビデオ会議システムとの多地点接続時にもフルHDとHDに対応。加えて、両システムは国際標準に準拠しているため、現在、市場で利用されている 150 万台以上の国際標準に対応したビデオ会議システムとシームレスに連携する。

解像度やフレーム数の向上によって映像品質を向上させる他、Polycom HDX シリーズに搭載されている「Lost Packet Recovery (ロスト・パケット・リカバリー)」技術や Polycom RMX 2000 リアルタイムメディア会議プラットフォームの機能「Video Clarity(ビデオクラリティ)」などを加えることで、高品質のビデオ会議を実現する。LPR は、ネットワーク上で発生するパケットロスによる映像品質の低下を抑える効果を提供し、一方 Video Clarity は、旧型のビデオ会議システムから受信した映像をアップスキャンして、CIF 解像度の映像を SD(4CIF)画質に、SD 画質を HD(720p)画質に変換して表示させることができる。

1080p HD 対応 Polycom HDX および Polycom TPX イ

マーシブ テレプレゼンス ソリューションは、同社発表プレスリリースによると6月からポリコム認定販売代理店を通して販売開始。

ブイキューブ、ライフサイズ社テレビ会議システムの販売およびレンタルの開始

株式会社ブイキューブ(東京都目黒区)は、株式会社日立ハイテクノロジーズ(東京都港区)が総販売代理店となっている米ライフサイズ・コミュニケーションズ社(LifeSize)のテレビ会議システムの販売およびレンタルを開始すると発表。

(6月25日)

ブイキューブのWeb会議システム「nice to meet you」は、テレビ会議システムとの連携ができるため、これによりnice to meet you とライフサイズのテレビ会議システムとの混在会議が可能になる。ただし資料の共有はnice to meet youの機能を使い行う。



nice to meet you とライフサイズの連携イメージ (ブイキューブ資料)



nice to meet you とライフサイズの連携した際のそれぞれの画面の見え方 (ブイキューブ資料)

今回レンタルサービスを開始する理由としてブイキューブ

は以下のようにプレスリリースにて説明する。「当社のお客様のなかには、定例会議を海外・国内の支社と遠隔で結びながら、本社メンバーは同じ会議室に集まり毎回会議を開催されるといったケースや、役員室にひとつテレビ会議システムを設置し、そこから遠隔地との様々な会議を実施されるケースがあるため今回販売およびレンタルを開始する。」

販売およびレンタル価格(税抜き、設置調整費込み)

	メーカー希望小 売価格	レンタル	
		初期費用	月額費用
Express Focus	758,000	133,000	34,000
Express	858,000	150,000	38,000
Express 200	958,000	167,000	42,000
Room 200	2,660,000	355,000	89,000

*ブイキューブ資料をベースにCNAレポート・ジャパンで作成

事業動向-国内

ネットワンシステムズ、ユニファイドコミュニケーションソリューションの展開を強化、シスコ製品の他、自社開発システムも提供

ネットワンシステムズ株式会社(東京都品川区)は、1989年にシスコシステムズ製品の国内独占販売を開始し、日本で初めて米国シスコ社からゴールドパートナーに認定。ノウハウや技術力を証明するシスコ認定の「IP Telephony Specialization」や「Cisco Master Unified Communications Specialization」を取得し、販売サポート体制を強化している。同社は、CCIEなどのCisco資格取得者数がネットワークインテグレータの中でNo.1という。

製品としては、ユニファイドコミュニケーション環境を構築する上で核となる「Cisco Unified Communications Manager(シスコ・ユニファイド・コミュニケーションズ・マネ

ージャー)や、プレゼンスの確認やインスタントメッセージング、IP 電話やビデオ会議などを可能とする PC クライアントソフト「Cisco Unified Personal Communicator(シスコ・ユニファイド・パーソナル・コミュニケーター)」、HD 対応のテレプレゼンスシステム「Cisco TelePresence」、オンライン Web 会議「WebEx」などシスコシステムズ製品を幅広く取り扱っている他、ネットワンシステムズが独自に開発した「Collaboaxl(コラボアクセル)」などを加えることでさらに付加価値の高いユニファイドコミュニケーションソリューションを提供している。



Collaboaxlは、Cisco Unified IP Phone 対応のアプリケーション。Cisco Unified Communications Manager と連動し、IP 電話(シスコ IP フォン)を情報端末化するソリューション。XMLの表示が可能なWebブラウザ機能、テキスト、画像、音声表示機能、テンキーやタッチパネルを利用した入力機能などを用いて、シスコ IP フォンを IP 電話として使用するだ

けでなく、受付システム、勤怠管理システム、在庫管理システム、グループウェア、館内放送のスピーカなどと連携させることも可能。

また、ユニファイドコミュニケーションを構成するコンポーネントとしての Web 会議「WebEx」は、SaaS サービスとして提供されている。WebEx は外資系だけでなく日本企業にも幅広く浸透してきているという。

ユニファイドコミュニケーションは、地域や部署を越えたシームレスで効率的なコミュニケーション環境や、勤務場所を意識しない業務スタイルを実現するとともに、移動しながらコミュニケーションや情報収集も行えるメリットがあると同社では指摘する。

ネットワンシステムズ株式会社

<http://www.netone.co.jp/>

製品・サービス動向-海外

Global IP Solutions 社、H.264 SVC を採用

Global IP Solutions 社は、映像符号化方式 H.264 SVC の採用を発表した。(6 月 23 日)

Global IP Solutions 社は、今回発表された H.264 SVC を、「GIPS Video Engine」に組み込み提供する。H.264 SVC は、2007 年 11 月に ITU-T で勧告された映像符号化方式。IP コミュニケーション環境でのパケットエラー耐性などに特長がある。

同社は、アプリケーション開発事業者やサービスプロバイダー、通信機器端末メーカー、モバイル端末メーカーなどへ、「Voice Engine」や「Video ConferenceEngine」などの組み込み式のメディアソリューションやアプリケーションを提供している。

本社は、米サンフランシスコ。ストックホルム、ボストン、香港などに支社がある。同社のプレスリリースによると、Citrix、ノーテル、オラクル、サムスン電子、WebEx、Yahoo!、AOL などが同社技術を採用している。

イタリア Mirial 社、MacOS X 対応ビデオソフトフォン発売

イタリア Mirial 社は、MacOS X 対応のソフトフォン「Mirial Softphone」を発売。(6月11日)

Windows PC 向けだけでなく MacOS X 向けのソフトフォンへのニーズから今回開発した。Mac OS X 対応 Mirial Softphone を使用することで、Mac OS 間だけでなく、Window PC 対応の Mirial Softphone ともビデオによるコミュニケーションが可能になる。また SIP や H.323 対応の専用端末との通信も可能。映像解像度は、SD から HD まで対応する。

同社では、メディアサーバ「PSE Media Server」、H.323/SIP ゲートウェイ「PSE SIP/H.323 Gateway」や携帯テレビ電話ゲートウェイ「PSE 3G Gateway」なども提供している。

Mirial Softphone は、30 日間のトライアルサービスも提供している。

事業動向-海外

タンバーク社、フロスト & サリバン社の 2009 Frost & Sullivan Asia Pacific Video Conferencing Vendor of the Year を受賞

タンバーク社は、フロスト&サリバン社より「2009 Frost & Sullivan Asia Pacific Video Conferencing Vendor of the Year」を受賞したと発表。

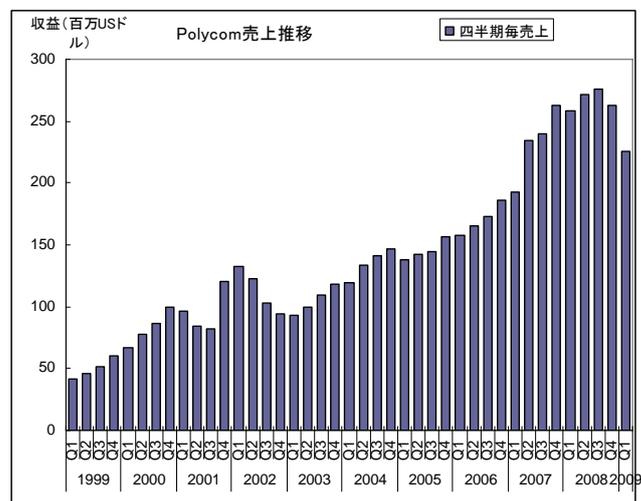
フロスト&サリバン社によるとアジア太平洋地域のエンタープライズベンダーカテゴリーで今回初めての「Video Conferencing Vendor of the Year」となる。そのため厳格な選考基準が設けられたという。この選考基準には、売上の成長、市場シェア、製品革新におけるリーダーシップ、幅広い製品とソリューション、主要な顧客の獲得、ビジネス/市場戦略など市場でのパフォーマンスを示す幅広い指標が含まれている。

業績状況 2009 年第一四半期

*N A S D A Q 等上場企業から発表された業績報告

(2009 年 1 月-3 月期)

ポリコム (米)



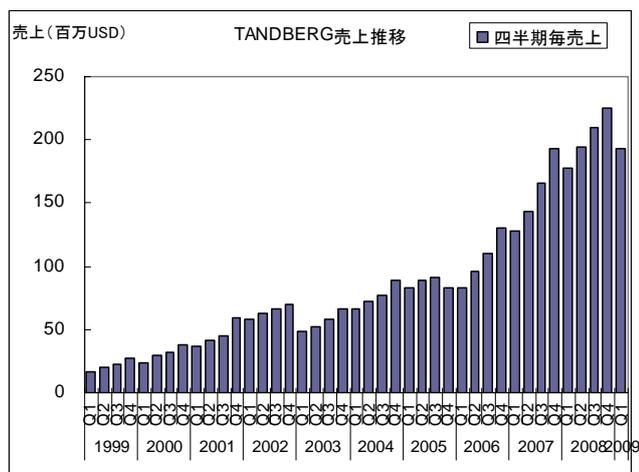
ポリコム社の 2009 年第一四半期の売上は、2 億 2540 万 USD。売上の構成は、全体の 55%がビデオ会議システム端末、14%がネットワークシステム、31%が音声会議システムだった。

売上は景気の悪化の影響を受けたと分析している。特にその影響を受けたのは音声会議システムだったが、テレプレゼンスシステムは、売上が 45%増、ネットワークシステムは、前年比 2 桁の伸びを示したと報告している。一方、財務状況においては、無借金経営で、今期は、2680 万 USD のキャッシュフローをもたらし、現金残高は、3 億 3870 万 USD。45 四半期連続でキャッシュフローはプラス。

タンバーク (ノルウェー)

タンバーク社の第一四半期の売上は、1 億 9330 万 USD。前年同期の 1 億 7810 万 USD から 9%増加した。4 月 23 日の業績発表会での資料によると、売上全体の中で 62%が端末販売、ネットワーク製品が 22%、付加価値サービスが 16%。端末出荷実績は、1 万 6610 台。

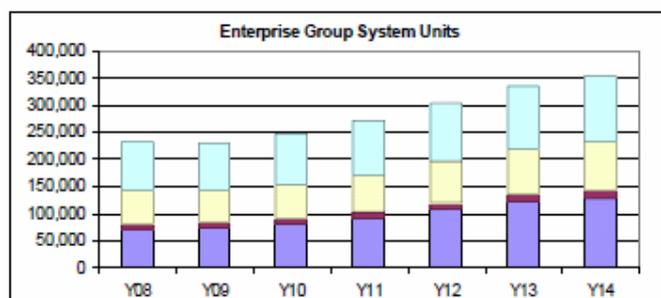
キャッシュインフローは、1880 万 USD で、3 月 31 日時点での現金残高は、1 億 9340 万 USD。



ビデオ会議業界は、企業の設備投資意欲の減退と各地域における営業サイクルの長期化の影響を受けたが、タンバークは、順調に収益を伸ばし、高水準のキャッシュフローを創出することができたと同社では分析している。

市場動向

米 Wainhouse Research 社、ビデオ会議市場レポートを発表



グループシステム端末台数予想 (Wainhouse Research 社作成) WR 社 <http://www.wainhouse.com>

米調査会社 Wainhouse Research 社が、2008 年から向こう 5 年間の将来予測を含めたワールドワイドビデオ会議市場レポートを発刊した。「Rich Media Conferencing」シリーズの一部になる。

同社作成のグラフによると 2008 年 23 万台あたりだったテレビ会議専用端末市場は、2014 年には、35 万台まで拡大すると予想した。

セミナー・展示会情報

<国内>

出張費削減！ConforMeeting 無料体験セミナー』定期開催

日時：7 月 22 日 (水) 14:00-15:00、16:00-17:00

7 月 29 日 (水) 14:00-15:00、16:00-17:00

*セミナーは 1 時間程度。都合の良い日時を選ぶ。

会場：NEC 情報システムズ 本社 (東京都港区)

主催：株式会社 NEC 情報システムズ

詳細・申込：

<http://www.nec-nis.co.jp/topics/event/conformeeeting/seminar.html>

テレビ会議システムを用いた経費削減セミナー

日時：7 月 24 日 (金) 15:00-17:00 (受付：14:30)

会場：株式会社日立ハイテクノロジーズ関西支店

主催：株式会社日立ハイテクノロジーズ

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社

詳細・申込：

http://www.hitachi-hitec.com/jyouhou/hitec-vision/event/20090630_001.html

*CTC における LifeSize 導入・活用の実際やハイテクビジョン実演

<海外>

NexCom Expo 2009 (Fall session) & CIPCC 2009 (China IP Communications Conference)

日時：9 月 23 日-25 日

会場：中華人民共和国 上海市

主催：全球 IP 通信連盟

詳細：<http://www.cipcc.cn/>

*ユニファイド・コミュニケーション、会議システム、ワイヤレス、IPTV 展示会&カンファレンス。

編集後記

今号もお読みいただきまして誠にありがとうございました。

最近映画で「ハゲタカ」を観ました。日立ハイテク/ライフサイズのビデオ会議システムが美術協力していて、4、5 回途中に出て来ます。そのうち 1 回はビデオ会議を行っているシーンでした。

Youtube に、「Infocomm 2009」と入力すると会場の様子や各社の製品紹介などのビデオクリップが投稿されています。

国際航空運送協会 (IATA) のジョバンニ・ビジニャーニ事務局長は、6 月 8 日のクアラルンプールでの講演でビデオ会議は“より強力な競争者”になってきたと言及しました。これは会議システム業界にとって大変喜ばしい話だと思います。会議システムが航空業界に影響を与えて来つつあると受け取れるからです。

今後とも宜しくお願い致します。(橋本啓介)